

1月27日に呼和浩特市から来る学生をホームビジットとして受け入れました。私がこのプログラムに参加した理由は、昨年の8月に呼和浩特市へ行くサマーキャンプに参加して、そこで出会った学生たちにすごくいい経験をさせてもらって、日本に帰ったら絶対に受け入れたいなと思ったからです。

私は当日、受け入れる学生と同じ年の妹と、中国に興味のある友達と共に、ショッピングモールへ遊びに行きました。日本の学生がどうやって遊ぶのか紹介したく、ショッピングモールを選びました。そこではプリクラや太鼓の達人、マリオカート、ガチャガチャをして遊びました。それは全て中国にはないものだと言っており、いい経験になったかなと思います。移動中の車などでお互いの学校についてたくさん話して、より深く交流することができました。

その後はお昼ご飯を食べに家へ帰り、一緒に一からお好み焼きを作りました。すごく上手にできて、おいしいと言ってもらえたので嬉しかったです。

その後も外へ出てたくさん遊びに行きました。今回のプログラムではより中国の学生と関係を深められたと思います。お互いの文化交流ができ、このようなプログラムにまた参加したいなと思いました。